



## 一集落一農場のむらづくり

長坂集落がむらづくり活動で表彰



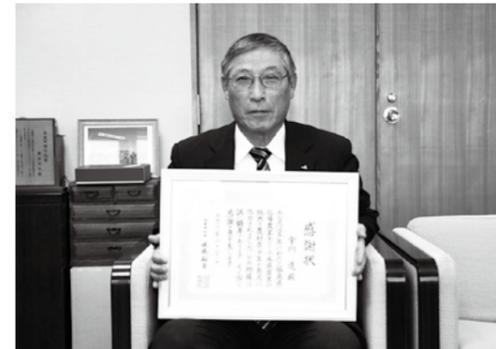
左から黒沢区長、津金町長、磯谷組合長

集落等におけるむらづくり活動などにおいて、顕著な業績を収めている団体を表彰する「豊かなむらづくり顕彰事業」の表彰を受けた長坂集落の黒沢孝区長と磯谷虎栄営農改善組合長の2人は3月24日、受賞の報告のために町役場を訪れました。

長坂集落では、県営ほ場整備事業を機に、担い手組織「ニューわくわくファーム」を設立。水稲作業の受託や大豆やソバなどの転作作物の栽培など経営の改善を図りながら、集落全戸参加による「一集落一農場」の営農体制を目指しており、今回の受賞はその取り組みが評価されたものです。おめでとうございます。

## 農業発展への尽力に感謝状

農業指導士の宇川さんに感謝状



報告のため町役場を訪れた宇川さん

福島県農業指導士として長年福島県の農業発展のために尽力された宇川進さん（五十軒）が、退職にあたり福島県知事より感謝状を贈呈されました。

地域の農業の中核として、特にトマトの栽培の普及と町内の農家の技術指導に努めた功績に対するもので、報告を受けた津金町長は「18年という長い期間にわたり、県や町の農業発展のために尽力していただき、本当にありがとうございます」と感謝の言葉を述べ、宇川さんの労をねぎらいました。

お疲れさまでした。

## 長い期間お疲れさまでした

猪苗代町納税貯蓄組合長大会開催



50周年記念表彰を受けた阿部組合長

猪苗代町納税貯蓄組合長大会ならびに表彰式は3月26日、町役場正庁で開かれました。表彰に先立ち、津金町長が式辞を述べ、「長年町税の収納率向上に重要な役割を担っていただき、ありがとうございました」と退任する組合長をねぎらいました。

表彰では、昭和52年から現在まで32年間在職中の新町口第1納税貯蓄組合の阿部敏夫組合長が全国納税貯蓄組合連合会創立50周年記念の納税功労者表彰を受けたほか、6年以上在職された組合長などに猪苗代町納税貯蓄組合連合会永年在職者表彰が贈られました。

## 壺下地区の取り組みを表彰

壺下地区ふるさとを守る会が受賞



表彰状を手にする佐藤会長（右）と津金町長

農村環境の向上活動に積極的に取り組んだ功績が認められ福島県農地・水・環境向上対策地域協議会長より表彰を受けた「壺下地区ふるさとを守る会」の佐藤美晴会長は3月10日、受賞の報告のため、町役場を訪れました。守る会では、水路の泥上げや河川の草刈り、地区内のゴミ拾いなどの環境美化活動や、花の植栽活動などを行っています。今回表彰されたポイントは、地域との連携を図り地域住民が一体となって実施していることや、若年層から高齢者まで世代を超えての交流をしていることだそうです。

皆さんおめでとうございます。

## 猪苗代町体験交流館が開館

愛称は「学びいな」に決定しました



テープカットで開館を祝いました

町民の文化活動や生涯学習の新たな拠点となる猪苗代町体験交流館の開館式は3月29日、同館の大研修室で開催されました。

開館式では津金町長が「町民の学習や文化の交流、各種の講座など生涯学習の場としても活用してほしい」とあいさつ。

一般公募をした愛称は、570点の中から遠藤美代子さん（上ノ上）の命名した「学びいな」に決定し、遠藤さんには表彰状が贈られました。

施設は鉄骨鉄筋コンクリート造り一部3階建てで、ステージや可動式の客席を備えた大研修室、調理研修室などを備えています。

## 博士と話をしに出かけよう

野口英世記念館に博士ロボが登場



博士が身ぶり手ぶりを交えて話します

町内の野口英世記念館では3月19日、開館70周年を記念した新展示室「野口博士の研究室」がオープンしました。

新展示室では、米国のロックフェラー医学研究所で働いていた38歳当時の博士の姿を人型ロボットで再現。容姿だけでなく表情やしぐさなどもリアルで、まるで博士と話しているようです。

オープン初日に横浜市から訪れた近藤守さん・明美さん夫妻は、「すごくリアルで博士と会話をしているようです。子どもたちも話してみたら励みになると思います」と感想を聞かせてくれました。皆さんも博士と話をしに出かけてみてはいかがでしょうか。